

漢字ドリルの進め方の例です。

あくまで例なので、この通りの進め方をしなければならないわけではありません。参考にしてください。

学習する漢字の目録は学年ごとの「書くこと」ですが、自分のペースで進めたい場合は、漢字の学習をより大切なこととして、11ヶ月か12ヶ月かします。

1. しっかりおぼえること（見なくても書けるか。）
2. その漢字を使えるようになること（たとえば、「常」と書けるようになる、で終わりではなく、「常」がつく言葉をとれだけ言えるか。その言葉の意味がわかるか。）

目、耳、口、手など、体をたくさん使えば使えばよい、のうを動かさず、おぼえやすくなるのです。

漢字ドリルの進め方	くわしいせつ明
①音読3回	読み、文例、じゅく語をそれぞれ3回ずつ音読する。
②書きじゅんを声に出しながら、指なぞり3回	「大きな漢字」⑦「」の上を、指でなぞる。
③書きじゅんをじゅん番にこえに出しながら、指なぞり3回	「1、1・2、1・2・3…」と、一画目にもどりながら、「大きな漢字」⑦「」の上を、指でなぞる。
④書きじゅんの声を出しながら、空書き3回。	一画目にもどらずに、指で3回空中で書く。この時、漢字ドリルを見ずにやれるとよい（思い出そうとする⇒頭を使いながらできるから、おぼえやすい）
⑤きれいにえん筆でなぞり、マスをうめる。	なぞる時は、はみださないようにする。

読み

文例

じゅく語

